

2024年7月1日

クリーンガス証書制度における「クリーンガス製造設備」の認定取得について

～e-メタン製造設備として国内初の認定～

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社（社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」）は、2022年3月より運転している「東京ガス横浜テクノステーション メタネーション実証設備」（以下「本設備」）について、クリーンガス証書制度における「クリーンガス製造設備」の認定を取得しました。今年4月から運用が開始された本制度において、e-methane（以下「e-メタン」）を製造する設備が「クリーンガス製造設備」の認定を取得するのは日本初になります。

本設備では、横浜市と三菱重工グループ^{*1}と共同で横浜市資源循環局鶴見工場の排ガスから分離・回収したCO₂^{*2}と、メガワット級水電解装置^{*3}で製造するグリーン水素（H₂）を主たる原料としてe-メタンを製造します。

今年度中に、製造したe-メタンについてクリーンガス相当量の認証の取得を行うとともに、カーボンニュートラル実現に向け、e-メタンの環境価値移転に活用していきます。さらに、横浜市下水道河川局北部下水道センターで発生する消化ガスと再生水を活用したe-メタン製造も予定しています^{*4}。

東京ガスグループは、経営ビジョン「Compass2030」において「CO₂ ネット・ゼロへの挑戦」を掲げています。本取り組みを通じ、e-メタンの普及を促進し、政府が掲げる「2050年カーボンニュートラル」に貢献していきます。

<認定概要>

製造事業者	東京ガス株式会社	
製造場所	東京ガス横浜テクノステーション	
e-メタン製造設備能力	12.5 Nm ³ /h	
主たる原料※	CO ₂	横浜市資源循環局鶴見工場の排ガスから回収した二酸化炭素
	H ₂	再生電力を活用した水電解により製造したグリーン水素
認定日	2024年6月27日	

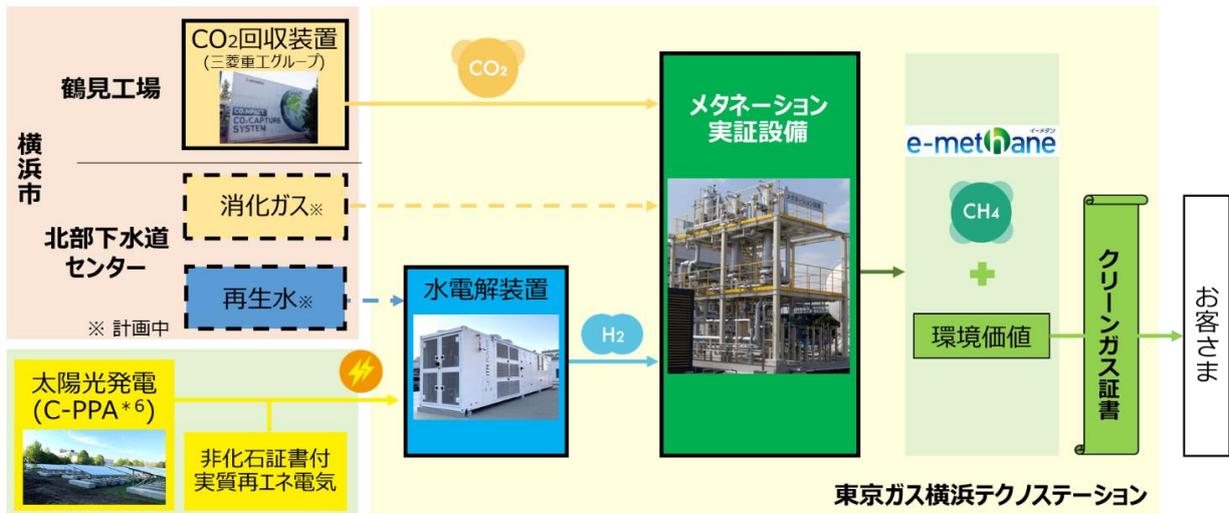
※横浜市北部下水道センターの消化ガスと再生水の活用も計画中。

■クリーンガス証書制度

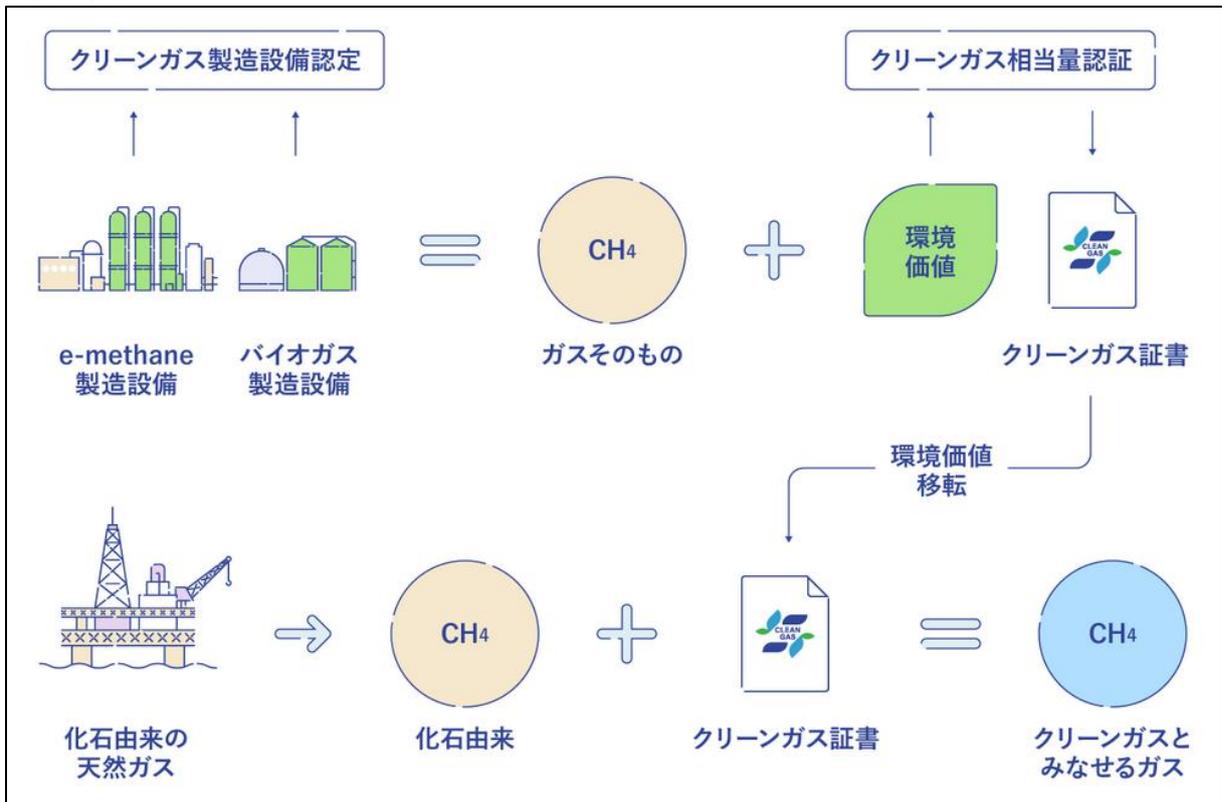
燃焼しても大気中のCO₂が増えないとみなせる価値（環境価値）を持つe-メタンやバイオガスを対象に、クリーンガスとしての証書を発行する制度。クリーンガス証書評価委員会^{*5}が製造設備の認定と、認定された設備により製造されたクリーンガス相当量の認証を通じて「クリーンガス証書」を発行することで、e-メタンやバイオガスの環境価値をエネルギー価値から分離し、移転可能となる。

[（クリーンガス証書評価委員会 HP）](#)

<原料から e-methane 製造とその活用までの流れ>



<環境価値移転のイメージ>



*1：三菱重工業/三菱重工環境・化学エンジニアリング

*2：[ごみ焼却工場の排ガスからの CO₂ 回収とメタネーションへの利用実証の開始（2023年7月28日発表）](#)

*3：[国内初、水素製造実証実験に向けた海外製メガワット級 PEM 型水電解装置の設置（2024年3月26日発表）](#)

*4：[横浜市と東京ガスがメタネーションの実証試験に向けた連携協定を締結（2022年1月18日発表）](#)

*5：クリーンガスを製造する製造設備の認定、および認定済み製造設備により製造されたクリーンガス相当量の認証を行う機関

*6：[東京ガスグループにおけるオフサイトコーポレート PPA 小売供給事業の実施について（2023年5月30日）](#)